

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	農業経営安定対策事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	麦等の推進作物への誘導等により、主食用米の生産調整を推進するため、事業を実施する高松市地域農業再生協議会に補助金を交付し、経営所得安定対策の円滑な推進を図る。		
30年度概要	営農計画書、制度のパンフレット等を農家に配布。地区ごとに制度の説明会を開催。 水田システムへの入力による水田台帳管理。 交付対象作物の現地作付確認。 交付対象作物の販売確認。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市内における農家
意図（どのような状態にしたいか）	麦等の推進作物への作付を誘導し、米の生産調整を推進する。 また、経営所得安定対策を市内の農業生産者へ周知徹底を図り、制度への積極的参加、制度の有効活用による農業経営の安定と国内生産力の確保を図っていく。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
農業者戸別所得補償制度の周知人数	人		15,018	14,865	14,800	14,800
地区説明会の開催数	回		36	36	36	36

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
農業者戸別所得補償制度交付金交付申請者数	人	目標値		5,900	5,500	700	700
		実績値		5,511	5,319		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 交付金の申請者数については、農業者の高齢化に伴う農業者の減少により目標を下回ったが、交付対象作物の作付面積については、推進作物の作付拡大に伴い計画どおり達成した。		(目標達成度)					(達成度) 96.7% 33点
交付対象作物の作付面積	m ²	目標値		8,000,000	8,400,000	8,400,000	8,400,000
		実績値		8,382,865	8,409,479		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 交付対象作物の作付面積については、推進作物の作付拡大に伴い計画どおり達成した。		(目標達成度)					(達成度) 100.1% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	50,190	50,355	48,822	49,646
（事業費）	[千円]	22,553	22,091	21,509	22,333
（職員人件費）	[千円]	27,637	28,264	27,313	27,313

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市内15000戸農家の営農意識は大きな開きがあり、制度への参加から、積極的な営農推進まで農家に合わせた対応が必要。また、対応する職員も各地区担当の35名の力量や姿勢も大きな開きがあるため、できるだけ統一的な対応が図れるようにしていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

主食用米の交付金が平成30年より廃止になり、生産数量目標の設定がされなくなったことを受けて、県オリジナル品種米のおいでまいの振興、国の戦略作物の振興、高松市の特産物となりえる野菜等の作付拡大を図り、農家の営農意欲を促進していく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	水田農業振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模農家の農業機械の購入経費に補助を行うことにより、水田農業の持続的な発展に向け、土地利用型農業における規模拡大や経営の高度化を推進する。		
30年度概要	麦の種子代への助成 農業機械の購入経費への補助		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	農業者、担い手（認定農業者、営農集団）、農業協同組合
意図（どのような状態にしたいか）	麦における優良種子への更新並びに作付面積の拡大等を推進する。また、農業の持続的な発展に向け、農業機械の大型化を推進し、経営規模拡大を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		2,306	55	0	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
交付対象作物の作付面積	㎡	目標値		5,860,670	5,710,000	50,000	50,000
		実績値		5,705,552	4,850,000		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 天候不順により、麦の播種が出来ない所があり、麦の作付面積が目標を下回った。 (目標達成度)	8000000						(達成度) 84.9% 29点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	1						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	13,213	10,548	3,353	759
（事業費）	[円]	10,910	8,978	2,594	0
（職員人件費）	[円]	2,303	1,570	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

麦の優良種子については、面積要件（4ヘクタール以上）を設け効率的に事業を行えたが、担い手が面積拡大に必要な機械導入については、事業の採択要件が厳しいため、該当者がいなかった。また、30年度度については、予算不足のため、麦種子助成がなくなるため、市として何が出来るかを検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

農業の担い手（認定農業者および営農集団等）に特化した補助制度への移行を検討し、麦の優勝種子代助成を行っていたが、予算不足のため、平成30年度は休止となるが、今後、国の施策を考慮しながら、新たな対策を検討していく。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興	電話番号	087-839-2422	
	基本事業	生産の振興	事業実施主体	市	
	事務事業	有害鳥獣被害対策事業	事業期間	平成 28年度～平成 35年度	

【事業全体概要】

事業の概要	市内におけるイノシシ等による農産物等の被害を防止し、農業の育成を図るために、市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会等による捕獲活動や農家の防護柵等設置経費の助成を行い、農作物被害の軽減を図る。				
30年度概要	イノシシ・サル対策 箱わな設置業務委託・被害防止対策補助（捕獲）・防護柵等整備助成・箱わな導入事業・狩猟免許申請手数料助成・獣害に強い市街地づくり支援事業・鳥獣被害防止対策推進事業・指定管理鳥獣捕獲等推進事業・集落活動支援事業 負担金 アライグマ対策 箱わな購入・殺処分機用炭酸ガス代・防除支援（捕獲） その他の事業 カラス対策（弾代補助）・カワウ対策・高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・非常勤嘱託職員報酬				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	


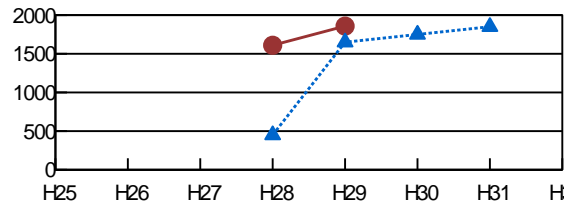

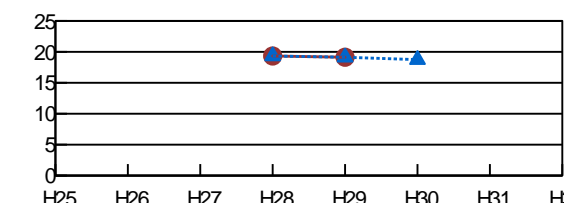
【事業の目的】

対象（何を）	市内総農家、鳥獣による被害農家数
意図（どのような状態にしたいか）	イノシシやアライグマ等有害鳥獣による、被害地区住民による獣害を寄せ付けない鳥獣ストップゾーン（緩衝帯）の整備、集落単位での防護柵等による防護、香川県猟友会等による有害捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等推進事業等による捕獲を強化し被害の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
イノシシ等捕獲に係る補助金交付件数	件/年		1,021	1,909	1,600	550
防護柵等設置に係る補助金交付件数	件/年		66	38	70	70

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
有害許可捕獲による捕獲頭数	頭	目標値		450	1,650	1,750	550
		実績値		1,610	1,858		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 鳥獣被害防止計画に基づき、イノシシ捕獲者数や防護柵等を設置した農家数を増加することで、農作物等の被害の軽減を図る 							(達成度) 112.6% 35点
有害鳥獣による農作物被害面積	ha	目標値		19.33	19.13	18.74	18.74
		実績値		19.33	19.13		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 鳥獣被害防止計画に基づき、イノシシ捕獲頭数の増や防護柵等の設置を推進することにより、農作物等の被害の軽減を図る 							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	21,869	37,780	42,403	47,710
（事業費）	[円]	13,424	22,863	27,988	33,295
（職員人件費）	[円]	8,445	14,917	14,415	14,415

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き捕獲に努めるとともに、環境整備（鳥獣ストップゾーンの整備）、防御（集落単位での防護柵の設置等）を一体的に実施する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	園芸産地育成推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	多様化するニーズを的確に捉えながら計画的な作付け再編を図り、地域の立地条件や技術を生かした戦略を早期に確立するとともに、総合的な生産流通対策を講ずることにより、持続的農業の推進や競争力の強化、需要の確保や供給と価格の安定化を図るため、農業機械施設等の整備についての支援を行う。		
30年度概要	多様化するニーズを的確に捉えながら計画的な作付け再編を図り、地域の立地条件や技術を生かした戦略を早期に確立するとともに、総合的な生産流通対策を講ずることにより、持続的農業の推進や競争力の強化、需要の確保や供給と価格の安定化を図るため、農業機械施設等の整備についての支援を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備


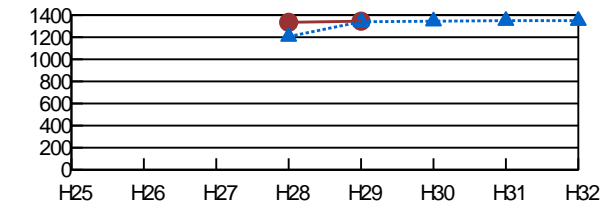

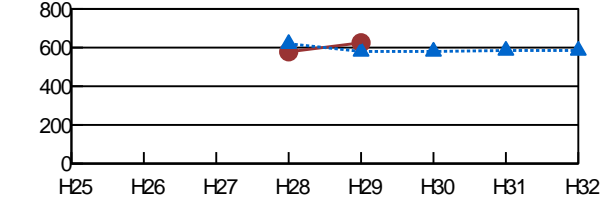
【事業の目的】

対象(何を)	高松市内の農業生産者
意図(どのような状態にしたいか)	市内における農業生産力の増大並びに付加価値の高い作物の産地化を図り、競争力の強化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		16	10	15	15

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高松市内の野菜販売額(農協取扱分)	百万円	目標値		1,206	1,340	1,345	1,345
		実績値		1,335	1,345		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 露地野菜の栽培拡大等により野菜の販売額が増加し、計画を上回った。 							(達成度) 100.4% 35点
高松市内の果物販売額(農協取扱分)	百万円	目標値		620	580	580	580
		実績値		578	625		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 出荷数量が減少したため、果物の販売額が減少し、計画を下回った。 							(達成度) 107.8% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	51,096	74,038	31,100	63,833
(事業費)	[千円]	40,348	65,402	23,513	56,246
(職員人件費)	[千円]	10,748	8,636	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
県の補助事業を活用しているが、県内の事業要望が多く、補助率が減少しており、生産者負担が増大している。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
今後も、国、県などの補助事業を積極的に活用し、一般財源の縮小を図りながら、園芸産地の育成を図る。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	畜産振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	家畜伝染病予防のほか、和牛等の効率的かつ組織的な育種改良により、産肉性等経済能力の向上を図るため、毎年度予算の範囲内において補助金を交付することにより、優良繁殖牛の導入による優良牛の作出等を促進する。
-------	--

30年度概要	1) 家畜法定伝染病予防事業補助金 2) 肉用牛等生産振興事業（優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業） 3) 家畜環境衛生対策事業
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


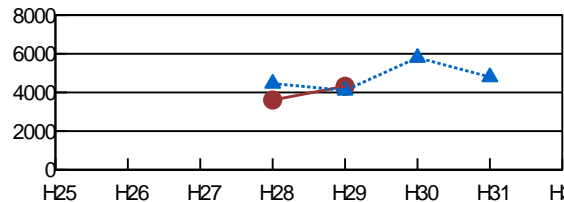
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の畜産農家
意図（どのような状態にしたいか）	家畜伝染病の発生防止、まん延防止に努め、畜産経営の安定に資する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付頭数	頭		3,608	4,319	5,800	5,800

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
予防注射・検査頭数	頭	目標値		4,463	4,105	5,800	5,800
		実績値		3,608	4,319		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 家畜伝染病の発生・蔓延を防止し、畜産経営の安定に貢献できた。  （目標達成度）			 （達成度） 105.2% 35点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
（目標達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,403	9,239	8,218	8,702
（事業費）	[円]	4,564	5,313	4,424	4,908
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

家畜伝染病を予防するほか、各種助成を行うことで、生産性の向上を図ることができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

家畜伝染病の発生・蔓延を防止するほか、各種助成を継続することで畜産経営の安定に資する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	土地改良課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2433
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	多面的機能支払事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混住化等により困難になってきていることや、国民の価値観の変化への対応、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められていることから、地域ぐるみで取り組む効果の高い共同活動や水路・農道等の長寿化のための向上活動等を実施する活動組織に活動費用の一部を補助する。（補助率 市1/4・国1/2・県1/4）		
30年度概要	多面的機能支払事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理


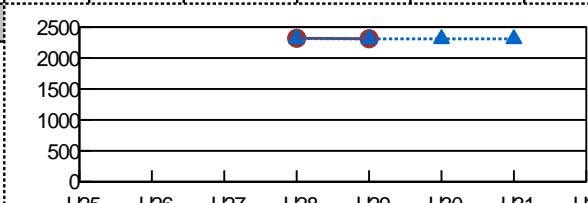
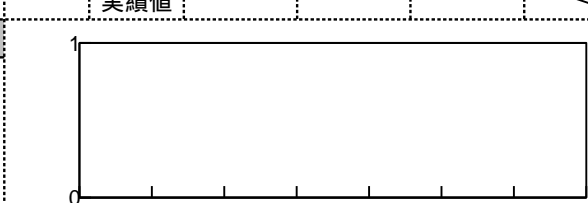
【事業の目的】

対象（何を）	地域ぐるみで農地・水保全の共同活動・向上活動を行う活動組織
意図（どのような状態にしたいか）	農村の自然や景観を農業者や農業者以外の住民を含めた地域ぐるみで守ろうとする共同意識が醸成される。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
農地・水保全管理支払事業活動組織数	団体数		33	34	36	26
農地・水保全管理支払事業活動組織数（向上活動）	団体数		22	22	22	14

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	対象農用地面積	ha	目標値		2,314	2,310	2,310	2,310
			実績値		2,320	2,312		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 活動組織が多ければたくさんの人が参加して もらえていると考えられる  (目標達成度)							(達成度) 100.1% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	149,493	146,707	145,132	150,642
（事業費）	[円]	143,351	138,463	137,166	142,676
（職員人件費）	[円]	6,142	8,244	7,966	7,966

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

農業・農業用施設の適切な保全管理について、農業者や地域住民が共同して活動、交流する機会を通じて、連帯意識を醸成しつつ事業を実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

農業・農業用施設の適切な保全管理について、農業者や地域住民が共同して活動、交流する機会を通じて、連帯意識が図られているなど、今後も継続して事業を実施する必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	森林整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	健全な森林の育成と、公益的機能の維持向上等を図るため、地域の実態や松くい虫被害状況に応じ防除事業を実施する。		
30年度概要	地域の実態や松くい虫被害状況に応じた防除事業の実施 樹幹注入 1 0 0 0本 伐倒駆除(くん蒸・油剤) 200立米		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


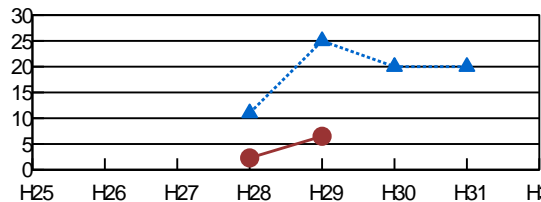
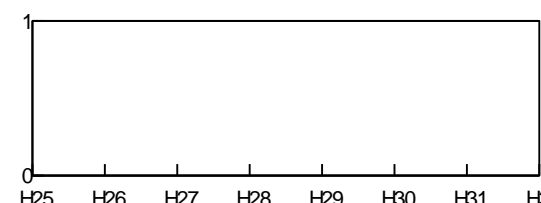
【事業の目的】

対象(何を)	高松市内の市有林等の山林
意図(どのような状態にしたいか)	松くい虫防除事業を実施することにより、健全な森林を育成する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
松くい虫被害木材伐倒駆除材積	m ³		10.2	14.52	200	200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	年間松くい虫被害材積において、伐倒駆除事業を実施した面積の比率	%	目標値		11	25	20	20
			実績値		2.3	6.5		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成29年度は大規模な松枯れ被害が予想されていたが、予想よりも被害量が少なかった。そのため防除事業の対象となる松も少なく伐倒駆除材積も年度当初の想定を大幅に下回った。 (目標達成度) 				 (達成度) 26.0% 9点			
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)	 (達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	15,888	13,810	10,881	15,070
(事業費)	[千円]	8,979	6,744	4,811	9,000
(職員人件費)	[千円]	6,909	7,066	6,070	6,070

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域の実態や松くい虫の被害状況に応じて、また、事前調査をしっかりと行い、適正規模で防除事業を実施する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	林業振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	森林資源の造成、水源涵養および国土保全、造林技術の向上、農山村の雇用と所得の確保などを図るため分取造林事業を実施し、豊かな森林を育てる。健全な森林づくりの支援を行い、水源涵養、国土の有効利用、自然環境の保全を図る。また、森林所有者による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な活動に要する経費に対し支援する。		
30年度概要	分取造林地整備事業 8ha	造林助成事業 50ha	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	分取造林地 私有林
意図(どのような状態にしたいか)	森林資源の造成、水源涵養及び国土保全、農山村の雇用と所得の確保を図るため分取造林事業を実施し、また、森林所有者による計画的森林施業の実施に不可欠な活動に要する経費に対し支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
造林施業面積	ha		8.79	5.97	8	5
補助金交付件数	件		3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	分取造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値		2.5	3	3	2.5
			実績値		3.9	3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 分取造林地の間伐等の整備について、計画どおりの施行が実施できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	人工造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値		3	3	3	3
			実績値		3.4	3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 木材価格が低迷し、造林意欲が低下している中ではあるが、ほぼ予定通りの施業に対し、支援が行えた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	17,231	18,605	15,505	16,070
(事業費)	[円]	11,089	12,324	9,435	10,000
(職員人件費)	[円]	6,142	6,281	6,070	6,070

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

木材価格が低迷し、山林所有者の造林意欲が低下している中、計画的に森林造成を進め、健全な山づくりを行う。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	その他
	事務事業	水産振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	水産業を振興する上で重要な施策である稚魚の種苗放流等を県の補助を受けながら実施する。		
30年度概要	漁獲効果のある魚種の放流等を実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	市内の漁業者
意図(どのような状態にしたいか)	水産資源の増殖を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ヒラメ放流尾数	尾		19,900	19,500	19,900	26,500

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
ヒラメ漁獲量	k g	目標値		17,000	17,000	17,000	17,000
		実績値		16,000	15,000		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 年度で変動があるが、安定して漁獲されている。(目標達成度)							(達成度) 88.2%
							30点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	10,075	11,063	10,428	9,981
(事業費)	[円]	10,075	10,278	9,669	9,222
(職員人件費)	[円]	0	785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

水産資源の維持・増大を図るために必要な事業であり、継続が必要である。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	高松産ごじまん品6次産業化支援事業		事業期間	平成29年度～平成33年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松産ごじまん品等の市内農産物について、6次産業化及び農商工連携の取組を推進し、新たな加工品・サービスの開発による高付加価値化やブランド化を図る。				
	30年度概要 高松産ごじまん品等の市内農産物について、6次産業化及び農商工連携の取組を推進し、新たな加工品・サービスの開発による高付加価値化やブランド化を図る。				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松産ごじまん品等の市内農産物
意図（どのような状態にしたいか）	高松産ごじまん品等の市内農産物について、6次産業化及び農商工連携の取組を推進し、新たな加工品・サービスの開発を創出し、高付加価値化やブランド化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
農産物の加工に取り組む件数	件			5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		農産物の加工品の創作数	品	目標値			2	5
			実績値			2		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 100.0%
	農産物の加工品の創作数について、計画どおり達成した。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
			目標値					
			実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]			3,249	3,259
（事業費）	[円]			2,490	2,500
（職員人件費）	[円]			759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
公募で事業を募集しているが、応募件数が少なかったため、今後も広報たかまつやホームページなどで積極的に事業の周知を行う。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
広報たかまつやホームページなどで積極的に事業の周知を行い、6次産業化や農商工連携を推進していく。			